

施策 8

人生100年時代の学び直しや生涯学習の推進

<主な取組>

8-① 社会人の学び直しやリカレント教育の推進に取り組みます。

8-② 社会教育士等の社会教育を進める人財の育成、県民の生涯学習と学びを通じた社会参加の推進、性別・年齢・障がい等の有無に関わらない多様な主体の生涯学習環境の充実と社会参加活動の促進に取り組みます。

<主な事業等>

主な取組	事業等名	R7決算額 (千円)	取組内容・評価（●…事業概要 ▶…具体的内容・実績・評価等）
8-①	あおもり県民カレッジ	8,490	● あおもり県民カレッジは、県民一人ひとりの主体的な学習と社会参加の推進を目指す体系的・継続的な学習支援システムであり、イベントの開催や情報誌による普及啓発を行うとともに、学習相談・学習情報提供、学習機会の提供、ボランティア活動支援等を行う。 ▶ あおもり県民カレッジ運営（H9年度～R7年度までの学生数延べ28,818人、認定証交付件数183件、認定証交付者数155人） ▶ イベントや主催講座等を通じて周知と啓発を図り、県民カレッジの入学や単位認定手続きについて、メールによる単位認定申請者がみられるようになった。 ▶ 学習機会提供事業では、地域キャンパス講座、ボランティア講師による自主講座等の開催数、受講者数が、コロナ禍による落ち込みから回復傾向にある。
8-②	社会教育主事育成派遣事業	375	● 社会教育主事の有資格者を育成し、今後の社会教育指導体制を充実させるため、指導主事や学校教員等を社会教育主事講習に派遣する。 ▶ 教育事務所等の指導主事、小・中学校の教員を社会教育講習へ派遣した（H19年度～R7年度延べ51人）。社会教育主事有資格者は減少傾向にあるため、引き続き受講を働きかけていく。
8-②	障がい者の生涯学習支援事業	936	● 障がいのある青年の地域社会における自立と社会参加を支援するとともに、地域住民との交流の機会とするため、集団学習や趣味の講座、障がい者スポーツ体験等を行う。 ▶ 特別支援学校卒業後の障がいのある青年たちに、社会性や生活技術・知識を身につけ、仲間づくりを行うための集団学習の場を広く提供するとともに、地域住民との交流を図るための取組を行った。 社会参加学習を特別支援学校16校で39回実施（計1,633人参加）。 地域住民との交流を図るスポーツ体験交流を特別支援学校6校で1回ずつ実施（計177人参加）。 特別支援学校の卒業生の近況報告の場となっており、卒業後のつながりや生きがい等を支える役割も担っている。

施策 8

人生100年時代の学び直しや生涯学習の推進

<指標>

No.	指標	基準値 (現状値)	目標値 (R10)	R6	R7	R8	R9	R10
①	あおもり県民カレッジ認定証交付件数（人数）	(R5) 268件 (130人)	600件／年 (290人)	211件 (164人)	183件 (155人)			
②	県内の社会教育主事有資格者数	(R5) 216人	230人	222人	227人			
③	障がい者の生涯学習支援事業を実施する特別支援学校の割合	(R5) 80.0%	100%	85.0%	80%			

<今後の方向性>

- 講座やイベント等の機会を通じた学びの機会の提供と情報発信の継続（あおもり県民カレッジの講座やイベント等）
- 社会教育を進める人財（社会教育主事等）の育成